

担当課:企画・地域振興部調査統計課
 担当者:調査第一班 中川・鏞野
 内線:2769
 直通:092-643-3186

福岡市・北九州市の消費者物価指数(令和5年平均)

➤総合指数は、令和2年を100として

福岡市は104.9 (前年比3.3%上昇)

北九州市は105.8 (前年比3.2%上昇)

1 令和5年平均消費者物価指数の概況

総合指数は、令和2年を100として福岡市は104.9で前年比3.3%の上昇、北九州市は105.8で前年比3.2%の上昇となった。全国は105.6で前年比3.2%の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は、福岡市は104.5で前年比3.1%の上昇、北九州市は105.2で前年比3.0%の上昇となった。全国は105.2で前年比3.1%の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は、福岡市は104.3で前年比4.0%の上昇、北九州市は104.9で前年比4.0%の上昇となった。全国は104.5で前年比4.0%の上昇となった。

図1 消費者物価指数の年別推移

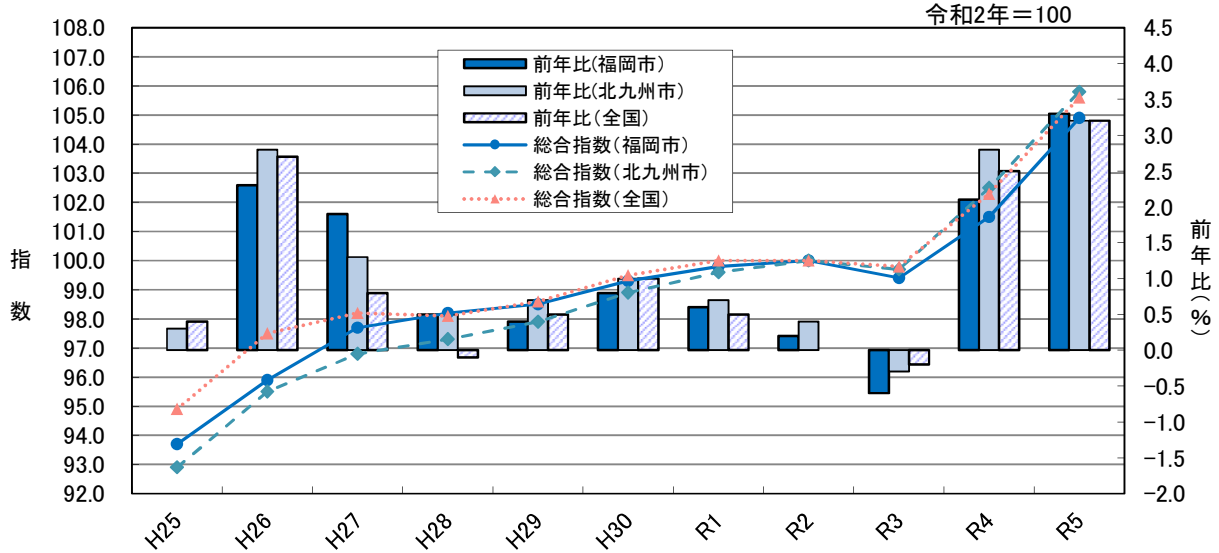


表1 変動に寄与した項目(中分類)

	上昇項目			下落項目		
	主な項目	寄与度	前年比(%)	主な項目	寄与度	前年比(%)
福岡市	1 調理食品	0.35	10.5	1 電気代	-0.53	-16.6
	2 菓子類	0.28	11.0	2 ガス代	-0.06	-2.9
	3 外食	0.27	5.3	3 洋服	-0.03	-1.6
北九州市	1 調理食品	0.42	10.8	1 電気代	-0.64	-16.6
	2 魚介類	0.34	13.0	2 ガス代	-0.03	-1.6
	3 菓子類	0.31	12.1	3 洋服	-0.02	-1.4

※1 寄与度・・・ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度影響を与えたかを示したもの。

※2 各寄与度は、総合指数の前年比に対するもの。

2 月別の動向

総合指数は、全国・福岡市・北九州市とも2月に一旦下落に転じたが、その後は一部下落も見られるものの、全体的に上昇基調となっている。

令和5年各月の前年同月比は、全国・福岡市・北九州市とも年間を通して前年を上回っている。

図2 消費者物価指数の月別推移

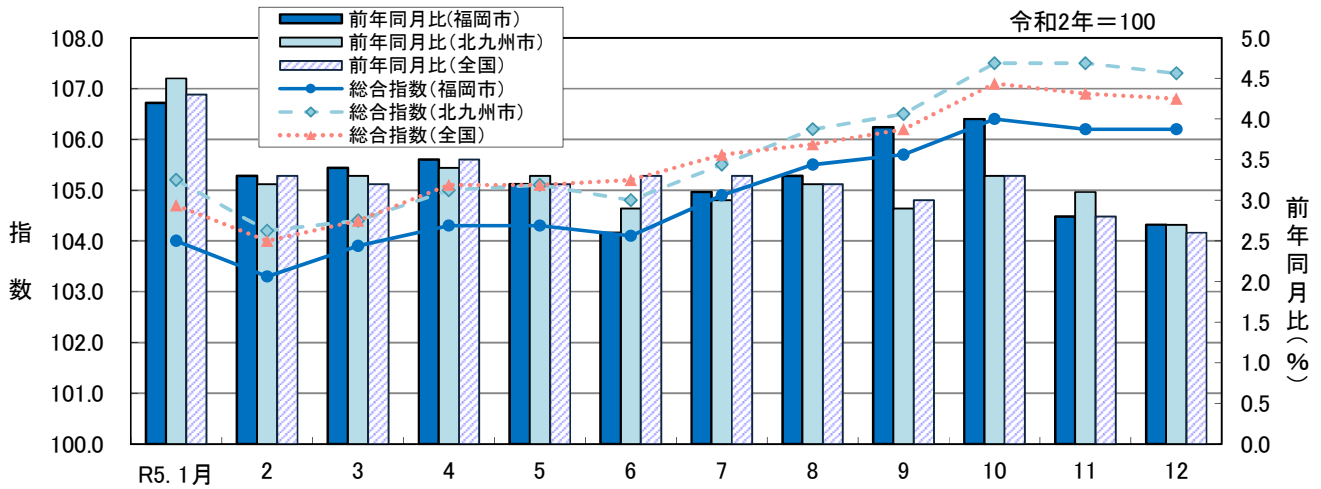


表2 令和5年消費者物価指数及び前年同月比

区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福岡市	総合指数	104.0	103.3	103.9	104.3	104.3	104.1	104.9	105.5	105.7	106.4	106.2	106.2
	前年同月比(%)	4.2	3.3	3.4	3.5	3.2	2.6	3.1	3.3	3.9	4.0	2.8	2.7
北九州市	総合指数	105.2	104.2	104.4	105.0	105.1	104.8	105.5	106.2	106.5	107.5	107.5	107.3
	前年同月比(%)	4.5	3.2	3.3	3.4	3.3	2.9	3.0	3.2	2.9	3.3	3.1	2.7
全国	総合指数	104.7	104.0	104.4	105.1	105.1	105.2	105.7	105.9	106.2	107.1	106.9	106.8
	前年同月比(%)	4.3	3.3	3.2	3.5	3.2	3.3	3.3	3.2	3.0	3.3	2.8	2.6

3 10大費目別の動向

各費目の前年比のうち、「食料」「家具・家事用品」が福岡市・北九州市とも、大きく上昇している。他の費目についても全体的に上昇している。「光熱・水道」の下落については、国による物価高騰対策(電力・都市ガス事業者への補助)が主な要因と思われる。

図3 10大費目別の前年比

